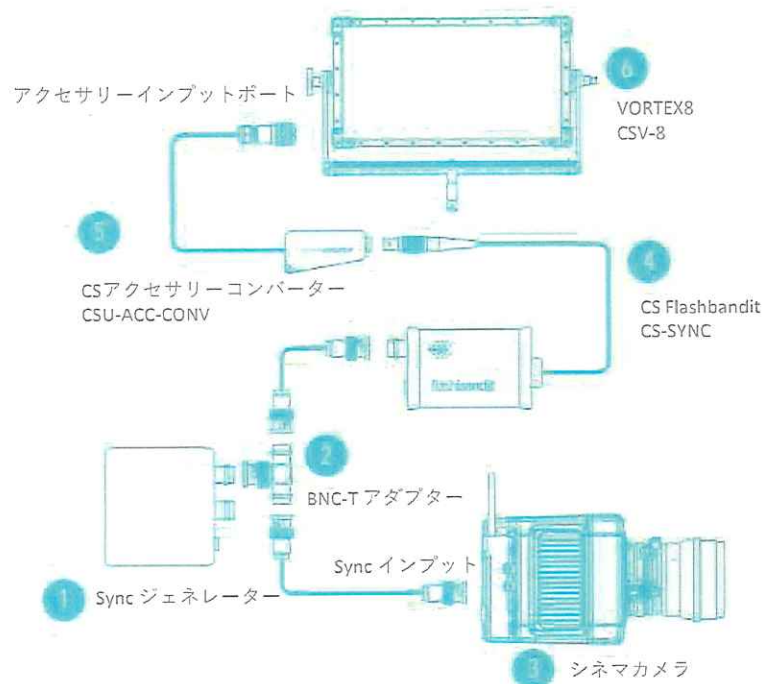


7.カメラとの同期

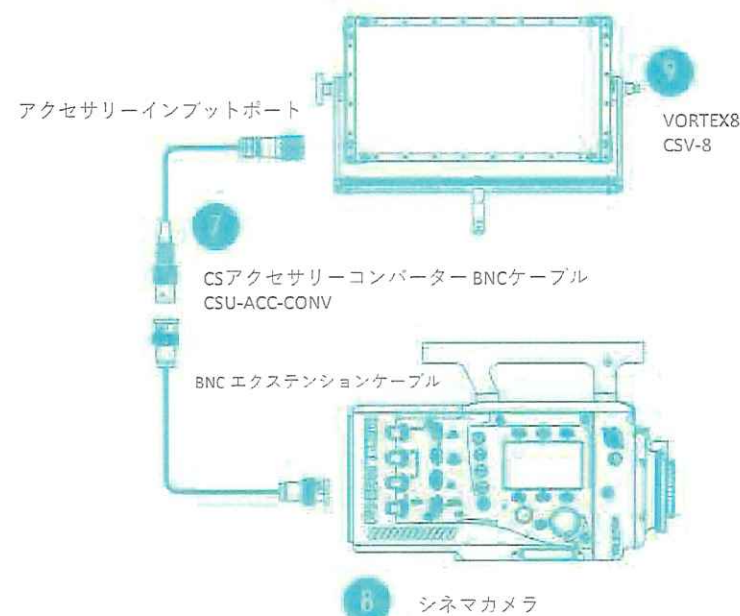
7.1 カメラと同期する

Vortexは、同期ジェネレーター（Ambient Lockit ACN-CLなど）などの外部ソース、またはシネマカメラのゲンロック出力からトリガーして、カメラのシャッターと確実に同期させることができます。これは、ほとんどのデジタルCMOSカメラがフラッシュまたはストロボ光源で発生する可能性のあるフレームティアリング/フラッシュバンディングの問題を解決するために使用できます。また、最大5,000 fpsのフレームレートで、高度な特殊効果のためのフレーム精度のストロボにも使用できます。

同期/ゲンロック入力を使用したカメラへの同期



同期/ゲンロック出力を使用したカメラへの同期



7.カメラとの同期

7.2 Flashbanditを使用してゲンロックをインプットする

Flashbandit (CS-SYNC) を使用して、同期ジェネレーターを必要とするカメラをセットアップします。

- 1 Lockit boxで①正しいフレームレートとフォーマットを設定します（デバイスのユーザーマニュアルを参照）。
撮影するフレームレートとフォーマットと一致している必要があります。
- 2 BNC-Tアダプタ2をLockit boxのSYNC / WORDCLOCK出力に接続します。
- 3 カメラのGENLOCK入力③を同軸ケーブルでロックボックス②に接続します。
これを設定するには、カメラの指示に従ってください。
- 4 Flashbanditアダプター④をCreamsourceAccessoryアダプター⑤に接続します。
- 5 Creamsourceアクセサリアダプタ⑤をVortexのアクセサリ入力⑥に接続します。
- 6 同軸ケーブルを使用してFlashbanditをLockitBoxに接続します-Flashbanditの青いライトが点滅して、有効な信号を示します。
- 7 同期が完了すると、Vortexのステータスバーの上部にある緑色のバーの表示が強調され、
デバイスが同期されていることを示します。フレームレートもステータスバーの下に表示されます。
- 8 Flashbanditを使用して調整します（詳細については、7.5 Calibrate Syncを参照してください）。

7.カメラとの同期

7.3アクセサリ-BNCケーブルを使用してゲンロックをアウトプットする

同期信号を出力できるカメラをセットアップするには、CreamsourceアクセサリBNCケーブル（CSV-ACC-BNC）を使用します。

- 1 CreamsourceアクセサリをBNCケーブル⑦に直接カメラのBNC SYNC / AUXポート⑧に接続します。
- 2 Creamsourceアクセサリのもう一方の端をBNCケーブル⑦に接続し、Vortexのアクセサリ入力ポート⑨に接続します。
- 3 同期信号を出力するようにカメラを設定します（デバイスのユーザーマニュアルを参照してください）。
- 4 同期が完了すると、Vortexのステータスバーの上部にある緑色のバーの表示が強調され、デバイスが同期されていることを示します。フレームレートもステータスバーの下に表示されます。
- 5 Vortexを調整します（詳細については、7.5 Calibrate Syncを参照してください）。

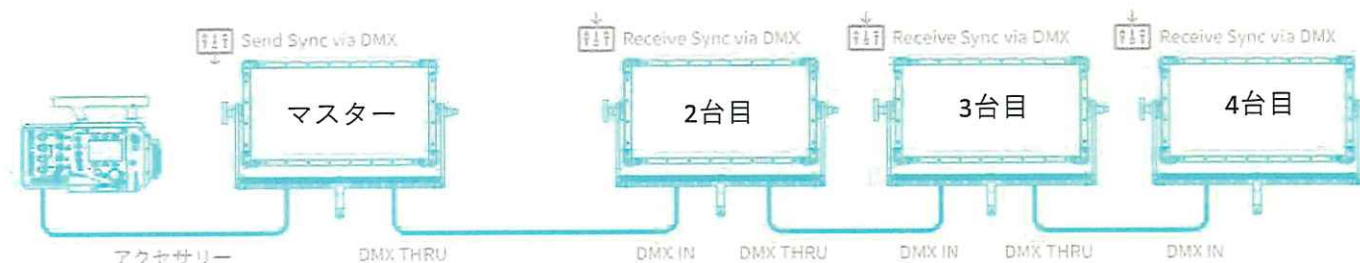
7.カメラとの同期

7.4 複数の機器を同期する

通常のDMXケーブルを使用して、信号を複数のVortexユニットに送信することができます。
これにより、カスタムケーブルや追加のハードウェアを使用せずにつなぐことができます。

- 1 同期ソース（カメラのゲンロック出力、Flashbanditまたはその他の外部トリガー信号）は、マスター灯体のアクセサリポートに接続する必要があります。
- 2 DMXINポートとDMXTHRUポートを使用して、マスター灯体と2台目をDMXケーブルを接続します。
- 3 マスター灯体で[Send Sync via DMX]を有効にします（Advanced→Sync Options→Send Sync via DMX）
- 4 2台目の灯体で[Receive Sync via DMX]を有効にします（Advanced→Sync Options→Receive Sync via DMX）
- 5 マスター灯体で同期の設定を行います。2台目以降の灯体を調整する必要はありません。
「Invert Input Level」オプションを使用する場合、マスター灯体だけ設定する必要があります。

注：通常のDMXコントロールを使用時は、DMXを介した同期信号を同時に使用することはできません。
フィクスチャのリモートコントロールが必要な場合は、CRMXワイヤレス、Bluetooth、またはsACNを使用できます。

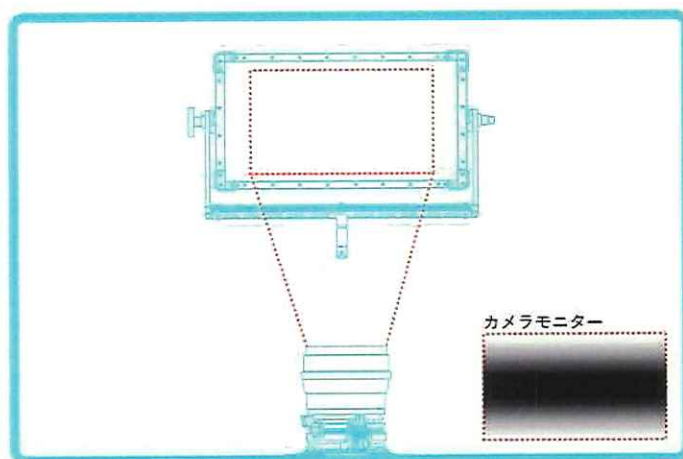


このステータスアイコンは、DMXポートがカメラ同期に使用されている場合に表示され、DMXの送信または受信には使用できません。
この設定には、[Advanced]> [Sync Options]からアクセスできます。

7.カメラとの同期

7.5 Syncの調整

これは、FlashBandit同期ボックスなどの外部同期ソースへライトをキャリブレーションするために使用されるモードです。
これは、カメラのシャッターとクリームソースが同期していることを確認するために使用され、CMOSセンサーカメラでの撮影時のフラッシュバンディング効果を防ぎます。



- 1 フレーム全体がLEDで覆われるように、カメラをVortex8に直接向けます。



- 2 [Effect]> [Calibrate Sync]を選択します。
フィクスチャはロックされたフレームレートで点滅を開始します。
(設定の詳細については、5.20 Calibrate Syncを参照)

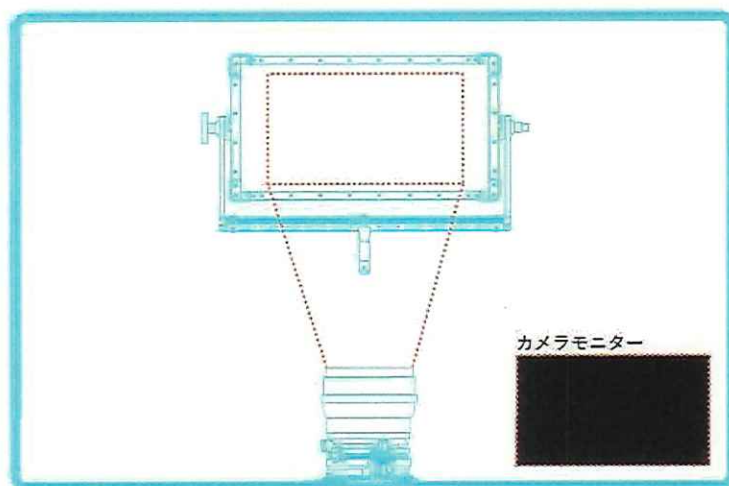
TIP

DMXケーブルによって分配された複数のフィクスチャを使用する場合、最初のユニットのみをキャリブレーションします。
カメラのフレームレートやシャッター角度が変更された場合は、再キャリブレーションすることをお勧めします。

7.カメラとの同期

7.5 Syncの調整

これは、FlashBandit同期ボックスなどの外部同期ソースへライトをキャリブレーションするために使用されるモードです。
これは、カメラのシャッターとクリームソースが同期していることを確認するために使用され、
CMOSセンサーカメラでの撮影時のフラッシュバンディング効果を防ぎます。



- 3 CalibrateSync画面で位相値を調整します。
位相を変更すると、カメラモニター上で暗いバンドが上下に移動するように見えるはずです。
ダークバンドがモニターを完全に満たすまで調整します。
シャッター角度を広くして高速で撮影すると、
ダークバンドのサイズが小さくなり、
キャリブレーションが難しくなります。



- 4 これで、Vortex8が調整されました。
目的のエフェクトモード（ノーマル、ストロボなど）
に設定できます。[Effects]> [Flash Frame]を選択します。

7.カメラとの同期

7.6 撮影時について

Creamsourceがキャリブレーションされると、フレームが乱れる心配なしに、どのモードでも使用できます。
リモート調光ユニットやDMXコントロールも安全に使用できます。
フレームレート、シャッター角度、またはカメラシャッターの位相が調整されている場合は、
再キャリブレーションする必要があります。

7.7 外部エフェクトのトリガー

外部パルスを使用して、Sync FlashとDual Level エフェクトをトリガーできます。
こちらの入力方法にはアクセサリコネクタを使用する必要があります。
詳細については、アクセサリのピン配列を参照してください。